

# 宝塚市協働のまちづくり促進委員会

## 第4期まとめ

宝塚市協働のまちづくり促進委員会  
(令和元年(2019年)9月20日~令和3年(2021年)9月19日)

## 1 総括

第 4 期は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による委員会の開催は難しい状況が続き、令和 2 年(2020 年)3 月以降、開催の中止が相次いだ。そのような状況下においても、書面やオンラインによる会議の活用などにより、全体会及び部会を計 17 回開催し、協働のまちづくり推進条例案の答申、同条例リーフレットの作成、及び地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みの構築に取り組むとともに、講義動画を利用した職員研修会の実施など、工夫を凝らしながら取組を進め、協働のまちづくりの促進を図った。

## 2 協働のまちづくり促進委員会(全体会)(合計 8 回開催。別途、作業班を 5 回、答申文案検討会を 2 回、条例リーフレットプロジェクトチーム会議を 3 回開催。)

### (1) 宝塚市協働のまちづくり推進条例について

- ア 第 43 回・第 4 期第 1 回の会議(令和元年(2019 年)10 月 23 日)で、第 3 期に引き続き令和 2 年(2020 年)3 月まで条例の議論を全体会で行っていくことを決定した。
- イ 第 45 回・第 4 期第 3 回の会議(令和元年(2019 年)12 月 12 日)で、条例素案修正案及び条例施行規則素案を確定した。
- ウ 第 46 回・第 4 期第 4 回の会議(令和 2 年(2020 年)1 月 27 日)で、答申について別途検討グループを作成して答申文案の検討を行うことを決定した。
- エ 第 47 回・第 4 期第 5 回の会議(令和 2 年(2020 年)2 月 27 日)で、条例案、条例説明資料案及び答申文案の最終検討を行った。
- オ 令和 2 年(2020 年)3 月 10 日に、宝塚市協働のまちづくり推進条例(案)を宝塚市長に対し答申した。
- カ 令和 2 年(2020 年)10 月から、市民向けの条例リーフレットの作成について、条例リーフレットプロジェクトチームで検討を実施した。検討内容を基に、令和 3 年(2021 年)3 月、『『気づき』から生まれる宝塚のまちづくり』リーフレットを宝塚市が発行した。

### (2) 部会の設置について

- ア 第 49 回・第 4 期第 7 回の会議(令和 2 年(2020 年)7 月 29 日)で、地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みの検証について「地域ごとのまちづくり計画推進部会」を、また、市民活動団体等、様々な団体との協働やその仕組みの検討について「協働契約のあり方検討部会」を、それぞれ設置することを決定した。

## 3 地域ごとのまちづくり計画推進部会(合計 5 回開催)

令和 5 年(2023 年)7月5日

協働のまちづくり促進委員会 資料5-1(参考資料)

(1) 地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについて

- ア 第 2 回・第 4 期第 2 回の会議（令和 2 年（2020 年）8 月 31 日）で、地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについて検討を開始した。
- イ 第 5 回・第 4 期第 5 回（令和 3 年（2021 年）6 月 30 日）で、仕組みを一旦完成とし、今後、運用を進める中で気づいたことなどについて随時、まちづくり協議会代表者交流会や地域ごとのまちづくり計画推進部会で意見交換をし、必要な修正を行いながら同仕組みの運用を進めることを確認した。

4 協働契約のあり方検討部会（合計 4 回開催）

(1) 検討内容について

- ア 第 3 回・第 4 期第 3 回（令和 3 年（2021 年）5 月 28 日）で、協働契約に係るガイドラインの作成を目指して検討を進めることとした。
- イ 第 4 回・第 4 期第 4 回（令和 3 年（2021 年）7 月 27 日）で、協働契約に係るガイドラインの素案を事務局が作成することとした。

5 市民説明会

実施状況については下表のとおり。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況などを踏まえ、令和 2 年度（2020 年度）以降は実施していない。

番号	日時	場所	参加人数 (アンケート回答数)	概要
1	令和元年 10 月 6 日（日）	中央公民館 (209・210 学 習室)	30 人 (28 人)	・説明「協働の指針および協働のマニュアル、協働の事例集について」 (説明者) 飯室委員 ・講演「地域活動における男女共同参画入門」
2	令和元年 11 月 1 日（金）	男女共同参画 センター・ エル 学習交流室 1AB	42 人 (27 人)	・説明「(仮称) 宝塚市協働のまちづくり推進条例素案」について (説明者) 檜垣委員 ・講演「協働についての基調講演」 (講師) 久委員 ・「福祉」をテーマにした活動事例の紹介及びパネルトーク

※合計 72 人 (55 人)

6 職員研修会

実施状況については、下表のとおり。

※番号2～15については、新型コロナウイルス感染症の影響により、密を避ける必要が生じたため、講師に会場へお越しいただく従来の方法ではなく、講義動画を事前に提供してもらい、当日はそれを視聴する方法で実施した。講義動画を利用することにより、複数の研修日程を設定し、参加人数を分散させながら開催することができた。

番号	日時	対象	参加人数 (アンケート回答数)	概要
1	令和元年 11月8日(金)	地域自治推進 担当次長職員	11人(6 人)	・グループワーク「地域ごとのまちづくり計画見直しの状況や課題の共有及び課題解決の方策の検討」 ・全体発表 ・講評 (講師)久委員
2	令和2年 11月26日 (木)	課長級、副課 長級及び係長 級職員	①10人 (7人)	・説明「宝塚市協働のまちづくり推進条例について」 ・講義(動画)「新しい公共と行政の役割」 (講師)久委員 ・説明「地域ごとのまちづくり計画について」
3	①14:00～15:00 ②15:30～16:30		②4人 (4人)	
4	令和2年 11月27日 (金)		①11人 (8人)(8人)	
5	①10:00～11:00 ②15:00～16:00	課長級、副課 長級及び係長 級職員	②12人 (11人)	
6	令和2年 12月14日 (月)	課長級、副課 長級及び係長 級職員	①15人 (12人)	
7	①9:30～10:30 ②11:00～12:00		②6人 (5人)	
8	③14:00～15:00		③17人	

協働のまちづくり促進委員会 資料5-1(参考資料)

9	④15:30~16:30		(12人) ④12人 (6人)	
番号	日時	対象	参加人数 (アンケート回答数)	概要
10	令和3年 1月7日(木)	室長級職員課長	18人(15人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明「宝塚市協働のまちづくり推進条例について」</li> <li>・講義(動画)「新しい公共と行政の役割」 (講師)久委員</li> <li>・説明「地域ごとのまちづくり計画について」</li> </ul>
11	令和3年 1月8日(金)	室長級職員課長	13人(10人)	
12	令和3年2月 24日(水)	課長級、副課長級及び係長級職員	①8人 (5人) ②8人	
13	①10:30~11:30 ②13:00~14:00		人 (7人)	
14	令和3年 3月5日(金)		課長級、副課長級及び係長級職員	
15	令和3年 3月12日(金)	課長級、副課長級及び係長級職員	5人 (4人)	

※合計 156人(117人)

7 第5期への申し送り

- (1) 協働契約のガイドラインについて、引き続き検討を行う。
- (2) 地域ごとのまちづくり計画を協働で推進していく仕組みについて、運用を進める中で気づいたことなどについて随時、まちづくり協議会代表者交流会や地域ごとのまちづくり計画推進部会で意見交換をし、必要な修正を行いながら運用を進める。
- (3) 協働のまちづくり推進条例の意義を、広く市民と共有するとともに、行政内部で共有し全ての施策に生かすことについて、効果的な手段を検討し実施していく。また、その効果について検証を行う。
- (4) 市民説明会、職員研修会及び地域活動全般について、コロナ禍における新しい生活様式に即した実施方法についての検討を行う。

令和5年(2023年)7月5日

協働のまちづくり促進委員会 資料5-1(参考資料)

- (5) 協働のマニュアルについて、各部会における検討結果が見えてきた段階で、その結果を踏まえながらマニュアル全体の検証を行う。(※発行から3年以上経過しており、第3期からの申し送り事項となっていたが、第4期において実施できなかったため、改めて記載)
- (6) 市主催のイベント等において、積極的に協働のまちづくりの周知を行う。
- (7) 上記申し送り事項については、状況に応じて部会を設置し、検討を行う。

令和5年(2023年)7月5日

協働のまちづくり促進委員会 資料5-1(参考資料)

協働のまちづくり促進委員会 第4期まとめ 添付資料

① 協働のまちづくり促進委員会に関連した取組の開催状況 (R1/9/20~R3/9/19)

開催年	開催日							
	促進委員会 (全体会)	地域ごとのまちづくり 計画推進部会	協働契約のあり方検 討部会	作業班 (条例)	条例答申文案検討会	条例リーフレット プロジェクトチ ーム会議	協働の指針市民説 明会	協働の指針職員研修 会
R1年							10/6 説明会	
				第14回 10/16				
	第43回 10/23							
							11/1 説明会	
				第15回 11/6				
								11/8 地域自治推進 担当次長意見交換会
	第44回 11/18							
				第16回 11/27				
第45回 12/12								
R2年				第17回 1/16				
	第46回 1/27							
					第1回 2/5			
				第18回 2/12	第2回 2/12			
	第47回 2/27							
	第48回 6/29							
	第49回 7/29							
		第1回 8/31						
			第1回 9/28					
		第2回 10/26						
						第1回 10/29		
						第2回 11/16		
								11/26 条例、地域ご とのまちづくり計画(計 2回)
						第3回 11/27		11/27 条例、地域ご とのまちづくり計画(計 2回)
			第2回 12/4					

令和5年(2023年)7月5日

協働のまちづくり促進委員会 資料5-1(参考資料)

		第3回 12/18						
								12/14 条例、地域ごとのまちづくり計画(計4回)
R3年								1/7 条例、地域ごとのまちづくり計画
								1/8 条例、地域ごとのまちづくり計画
								2/24 条例、地域ごとのまちづくり計画(計2回)
								3/5 条例、地域ごとのまちづくり計画
								3/12 条例、地域ごとのまちづくり計画
		第4回 4/22						
			第3回 5/28					
		第5回 6/30						
			第4回 7/27					
	第50回 9/17							
合計	8回	5回	4回	5回	2回	3回	2回	15回

※全合計44回

協働のまちづくり促進委員会 第4期まとめ 添付資料②

### 宝塚市協働のまちづくり促進委員会(第4期)委員名簿

(任期:令和元年9月20日~令和3年9月19日)

		所属	氏名	協働契約のあり方検討部会	地域ごとのまちづくり計画推進部会
知識経験者又市長が適当と認められた者	1	認定NPO法人放課後遊ぼう会	足立 典子	○	○
	2	まちづくり活動経験者	飯室 裕文	○	○
	3	宝塚市民生委員・児童委員連合会	成瀬 文夫 (~R2.1.26) 平原 雅明 (R2.1.27~)	○ (平原)	○ (平原)
	4	まちづくり活動経験者	加藤 富三	○	○
	5	宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅	○	○
	6	宝塚市自治会連合会	松川 富貴子	○	○
	7	公益財団法人宝塚市文化財団	沖野 友子	○	

令和5年(2023年)7月5日

協働のまちづくり促進委員会 資料5-1(参考資料)

	8	NPO法人女性と子どものエンパワメント関西	井山 里美	○	
	9	宝塚商工会議所	田中 香織	○	
	10	認定NPO法人宝塚NPOセンター	中山 光子	○	○
	11	宝塚市自治会ネットワーク会議	中川 常市 (~R2. 5. 17) 山口 英次 (R2. 5. 18~)		○ (山口)
	12	まちづくり活動経験者	檜垣 彰子	○	○
	13	近畿大学総合社会学部教授	久 隆浩	○	○
	14	宝塚市社会福祉協議会	牟田 浩伸		○
公募 による 市民	15	市民公募委員	西田 均 (~R3. 4. 26)		○
	16	市民公募委員	永崎 正幸		○
	17	市民公募委員	小西 喜美代 (~ R3. 3. 31)		○
市 職員	18	市職員 (社会教育部長)	立花 誠 (~ R2. 3. 31) 柴 俊一 (R2. 4. 1~)	○ (柴)	
	19	市職員 (産業文化部長)	福永 孝雄		○